

## 【流動性に係る健全性を判断するための基準に関する事項】 【銀行 連結】

### 連結流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

#### 時系列における連結流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

過去2年間の連結流動性カバレッジ比率の主要な変動及びその要因に関する定性的な説明

2026年3月期第2四半期の連結流動性カバレッジ比率は136.5%（前四半期比7.6%上昇）となりました。なお、当行の連結流動性カバレッジ比率は、過去2年間にわたって規制基準を大きく上回る水準で安定的に推移しております。

#### 連結流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

連結グループによる連結流動性カバレッジ比率の水準に関する評価

当期の流動性カバレッジ比率は、規制基準を大きく上回り、問題のない水準を確保しています。

前項の評価で課題が生じた場合の実務上の対応策

特に課題はありません。

今後の連結流動性カバレッジ比率の見通しに関する定性的な説明

当行の資産・負債構成に大きな変動が見込まれないことから、流動性カバレッジ比率も預金や貸出金の季節的な動き等に伴い、過去の推移と同様の動きとなることが見込まれます。なお、今後も同比率の見通しと実績値が大きく乖離することは想定されません。

実績値が当初の見通しと大きく異なる場合には、その異なった理由の追加的な説明

当期の流動性カバレッジ比率は、想定範囲内で推移しました。

#### 算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

算入可能適格流動資産の通貨又は種類等の構成や所在地に著しい変動があった場合に関する説明

当期の算入可能適格流動資産は、日本銀行等への預け金や日本国債、米国債、政府保証債、地方債などであり、当該資産に著しい変動等はありません。

なお、連結子会社が保有する資産については、連結流動性カバレッジ比率の算定において、適格流動資産として計上していません。

主要な通貨\*における算入可能適格流動資産の合計額と純資金流出額の間に著しい通貨のミスマッチがある場合には、そのミスマッチに関する評価及びミスマッチへの実務上の対応策に関する説明

当行では、円以外の主要な通貨として「米ドル」が該当します。なお、当該通貨における算入可能適格流動資産の合計額と純資金流出額の間に著しい通貨のミスマッチはありません。

※当該通貨建て負債の合計額が、銀行の負債合計額の5%以上を占める円以外の通貨をいいます。

#### その他連結流動性カバレッジ比率に関する事項

・流動性比率告示第29条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」に関する説明

当行は、「適格オペレーショナル預金に係る特例」を適用していません。

・流動性比率告示第38条に定める「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」を適用している場合に関する説明

当行は、「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」を適用していません。

・流動性比率告示第53条に定める「その他偶発事象に係る資金流出額」、同告示第60条に定める「その他契約に基づく資金流出額」又は同告示第73条に定める「その他契約に基づく資金流入額」に関する説明

当行では、「その他偶発事象に係る資金流出額」として、投資ファンドに対する未出資金を計上しています。また、「その他契約に基づく資金流出額」には、主に約定未受渡しの市場性運用資金等を計上し、「その他契約に基づく資金流入額」には、主に約定未受渡しの市場性調達資金等を計上しています。

なお、連結子会社の負債については、連結流動性カバレッジ比率の算定において、保守的にその流動負債が全額流出するとみなし、「その他契約に基づく資金流出額」に計上しています。

#### 流動性カバレッジ比率（日次平均の値をいう。）の内訳のうち、日次データを使用しない項目に関する説明

当行は、流動性カバレッジ比率（日次平均）の算定にあたり、月次データ（流動性比率告示に定める「中小企業等」や「安定預金」の要件確認に用いる属性情報等）や四半期次データ（連結子会社に関する情報等）を利用していますが、いずれも流動性カバレッジ比率（日次平均）に大きな影響はありません。

## 連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項目		当四半期		前四半期	
適格流動資産 (1)					
1	適格流動資産の合計額	3,865,894		5,090,547	
資金流出額 (2)		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	11,916,615	945,967	11,817,493	939,536
3	うち、安定預金の額	3,509,919	105,297	3,460,183	103,805
4	うち、準安定預金の額	8,406,695	840,669	8,357,309	835,730
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	4,655,864	2,321,394	5,791,069	3,427,679
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	-	-	-	-
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	4,453,394	2,118,924	5,685,306	3,321,917
8	うち、負債性有価証券の額	202,469	202,469	105,762	105,762
9	有担保資金調達等に係る資金流出額		1,915		3,743
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	2,020,989	338,705	2,042,308	370,014
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	203,552	203,552	235,860	235,860
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	-	-	-	-
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	1,817,436	135,152	1,806,448	134,154
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	116,828	100,873	121,255	106,384
15	偶発事象に係る資金流出額	1,708,426	87,185	1,788,947	89,329
16	資金流出合計額		3,796,041		4,936,689
金流入額 (3)		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	-	-	-	-
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	976,636	694,727	841,410	608,479
19	その他資金流入額	294,249	269,940	403,152	379,076
20	資金流入合計額	1,270,886	964,668	1,244,562	987,555
連結流動性カバレッジ比率 (4)					
21	算入可能適格流動資産の合計額		3,865,894		5,090,547
22	純資金流出額		2,831,373		3,949,133
23	連結流動性カバレッジ比率		136.5		128.9
24	平均値計算用データ数		62		62

(注) 上記は、2015年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。

## 連結安定調達比率に関する定性的開示事項

### 時系列における連結安定調達比率の変動に関する事項

過去3年間の連結安定調達比率の主要な変動及びその要因に関する定性的な説明

2026年3月期第2四半期の連結安定調達比率は121.3%（前四半期比2.5%低下）となりました。なお、当行の連結安定調達比率は、過去3年間にわたって規制基準を上回る水準で安定的に推移しております。

### 流動性比率告示第101条各号に掲げる要件を満たす場合に関する事項

流動性比率告示第101条に定める「相互に関係する資産・負債の特例」を適用している場合には、その適用対象と相互関係性に関する説明

当行は、「相互に関係する資産・負債の特例」を適用していません。

### その他連結安定調達比率に関する事項

- ・ 連結グループによる連結安定調達比率の水準に関する評価  
当期の安定調達比率は、規制基準を上回り、問題のない水準を確保しています。
- ・ 前項の評価で課題が生じた場合の実務上の対応策  
特に課題はありません。
- ・ 今後の連結安定調達比率の見通しに関する定性的な説明  
今後の安定調達比率の見通しが現在の水準から大きく乖離することは想定していません。
- ・ 実績値が当初の見通しと大きく異なる場合には、その異なった理由の追加的な説明  
当期の安定調達比率は、当初の見通しと大きく異なっていません。

## 連結安定調達比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%)

項番		当四半期					前四半期				
		算入率考慮前金額				算入率考慮後金額	算入率考慮前金額				算入率考慮後金額
		満期なし	6月末満	6月以上1年未満	1年以上		満期なし	6月末満	6月以上1年未満	1年以上	
利用可能安定調達額 (1)											
1	資本の額	1,120,839	—	—	5	1,120,844	1,084,425	—	—	5	1,084,431
2	うち、普通株式等Tier1資本、その他Tier1資本及びTier2資本(基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。)に係る基礎項目の額	1,120,839	—	—	5	1,120,844	1,084,425	—	—	5	1,084,431
3	うち、上記に含まれない資本調達手段及び資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	個人及び中小企業等からの資金調達	11,886,128	—	—	—	10,870,913	11,962,705	—	—	—	10,944,256
5	うち、安定預金等の額	3,467,971	—	—	—	3,294,572	3,556,429	—	—	—	3,378,608
6	うち、準安定預金等の額	8,418,156	—	—	—	7,576,340	8,406,275	—	—	—	7,565,648
7	ホールセール資金調達	3,210,196	2,106,631	762,369	1,363,247	3,678,036	3,309,292	3,666,699	383,882	1,405,416	3,637,750
8	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	3,210,196	2,106,631	762,369	1,363,247	3,678,036	3,309,292	3,666,699	383,882	1,405,416	3,637,750
10	相互に関係する資産がある負債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	その他の負債	9,833	444,424	—	15,007	—	3,975	418,756	—	16,713	—
12	うち、デリバティブ負債の額	—	—	—	13,892	—	—	—	—	15,010	—
13	うち、上記に含まれない負債の額	9,833	444,424	—	1,115	—	3,975	418,756	—	1,702	—
14	利用可能安定調達額合計	—	—	—	—	15,669,795	—	—	—	—	15,666,439
所要安定調達額 (2)											
15	流動資産の額	—	—	—	—	158,739	—	—	—	—	168,674
16	金融機関等に預け入れているオペレーショナル預金に相当するものの額	4,139	—	—	—	4,139	5,183	—	—	—	5,183
17	貸出金又はレポ形式の取引による資産及び有価証券その他これに類するものの額	357,547	2,365,983	753,640	11,665,240	11,268,257	331,447	2,274,013	738,501	11,436,480	10,983,257
18	うち、レベル1資産を担保とする金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	うち、項番18に含まれない金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	1,958	385,886	53,802	652,116	738,858	1,447	371,511	36,579	620,755	696,218
20	うち、貸出金又はレポ形式の取引による資産の額(項番18、19及び22に該当する額を除く。)	—	1,292,552	499,841	4,152,790	4,267,921	—	1,257,958	494,344	4,061,179	4,169,447
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	462,062	87,198	790,736	788,609	—	457,926	70,341	793,535	779,932
22	うち、住宅ローン債権	—	176,848	160,995	6,335,568	5,193,704	—	175,758	162,176	6,235,234	5,097,210
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	55,892	53,854	1,802,252	1,226,337	—	55,870	55,618	1,858,533	1,263,791
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	355,589	510,695	39,002	524,765	1,067,772	330,000	468,784	45,401	519,310	1,020,380
25	相互に関係する負債がある資産	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	その他の資産等	174,577	46,215	24,458	1,066,888	1,304,226	176,676	56,413	15,365	1,074,225	1,310,828
27	うち、現物決済されるコモディティ(金を含む。)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	うち、デリバティブ取引等又は中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金又は清算基金(連結貸借対照表に計上されないものを含む。)	—	—	—	17,223	14,640	—	—	—	27,859	23,680
29	うち、デリバティブ資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	うち、デリバティブ負債(変動証拠金の対価の額を減ずる前)の額	—	—	—	4,419	4,419	—	—	—	3,504	3,504
31	うち、上記に含まれない資産及び資本の額	174,577	46,215	24,458	1,045,244	1,285,166	176,676	56,413	15,365	1,042,861	1,283,642
32	オフ・バランス取引	—	—	—	3,581,883	180,486	—	—	—	3,577,539	178,991
33	所要安定調達額合計	—	—	—	—	12,915,850	—	—	—	—	12,646,934
34	連結安定調達比率	—	—	—	—	121.3	—	—	—	—	123.8

(注) 上記は、2015年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。

## 【流動性に係る健全性を判断するための基準に関する事項】 【銀行 単体】

### 単体流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

#### 時系列における単体流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

過去2年間の単体流動性カバレッジ比率の主要な変動及びその要因に関する定性的な説明

2026年3月期第2四半期の単体流動性カバレッジ比率は139.7%（前四半期比8.3%上昇）となりました。なお、当行の単体流動性カバレッジ比率は、過去2年間にわたって規制基準を大きく上回る水準で安定的に推移しております。

そのほかの定性的開示事項につきましては、前記「【銀行 連結】「連結流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項」」に含めて記載しています。

### 単体流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

（単位：百万円、%、件）

項目		当四半期		前四半期	
適格流動資産（1）					
1	適格流動資産の合計額	3,865,894		5,090,547	
資金流出額（2）		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	11,916,615	945,967	11,817,493	939,536
3	うち、安定預金の額	3,509,919	105,297	3,460,183	103,805
4	うち、準安定預金の額	8,406,695	840,669	8,357,309	835,730
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	4,684,666	2,350,196	5,814,299	3,450,909
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	-	-	-	-
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	4,473,030	2,138,560	5,704,052	3,340,662
8	うち、負債性有価証券の額	211,636	211,636	110,246	110,246
9	有担保資金調達等に係る資金流出額		1,915		3,743
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	2,011,094	338,210	2,032,336	369,516
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	203,552	203,552	235,860	235,860
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	-	-	-	-
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	1,807,541	134,657	1,796,476	133,655
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	41,698	25,743	43,518	28,647
15	偶発事象に係る資金流出額	1,732,676	87,937	1,811,524	90,030
16	資金流出合計額		3,749,970		4,882,383
資金流入額（3）		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	-	-	-	-
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	996,105	714,194	864,495	631,563
19	その他資金流入額	294,276	269,967	403,186	379,110
20	資金流入合計額	1,290,381	984,162	1,267,682	1,010,673
単体流動性カバレッジ比率（4）					
21	算入可能適格流動資産の合計額		3,865,894		5,090,547
22	純資金流出額		2,765,807		3,871,709
23	単体流動性カバレッジ比率		139.7		131.4
24	平均値計算用データ数	62		62	

（注） 上記は、2015年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。

## 単体安定調達比率に関する定性的開示事項

### 時系列における単体安定調達比率の変動に関する事項

#### 過去3年間の単体安定調達比率の主要な変動及びその要因に関する定性的な説明

2026年3月期第2四半期の単体安定調達比率は123.5%（前四半期比2.6%低下）となりました。なお、当行の単体安定調達比率は、過去3年間にわたって規制基準を上回る水準で安定的に推移しております。

そのほかの定性的開示事項につきましては、前記「【銀行 連結】「連結安定調達比率に関する定性的開示事項」」に含めて記載しています。



【流動性に係る健全性を判断するための基準に関する事項】  
【銀行 単体】

単体安定調達比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%)

項番		当四半期					前四半期				
		算入率考慮前金額				算入率考慮後金額	算入率考慮前金額				算入率考慮後金額
		満期なし	6月末満	6月以上1年未満	1年以上		満期なし	6月末満	6月以上1年未満	1年以上	
利用可能安定調達額 (1)											
1	資本の額	1,120,839	—	—	5	1,120,844	1,084,425	—	—	5	1,084,431
2	うち、普通株式等Tier1資本、その他Tier1資本及びTier2資本(基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。)に係る基礎項目の額	1,120,839	—	—	5	1,120,844	1,084,425	—	—	5	1,084,431
3	うち、上記に含まれない資本調達手段及び資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	個人及び中小企業等からの資金調達	11,886,128	—	—	—	10,870,913	11,962,705	—	—	—	10,944,256
5	うち、安定預金等の額	3,467,971	—	—	—	3,294,572	3,556,429	—	—	—	3,378,608
6	うち、準安定預金等の額	8,418,156	—	—	—	7,576,340	8,406,275	—	—	—	7,565,648
7	ホールセール資金調達	3,210,196	2,106,631	762,369	1,363,247	3,678,036	3,309,292	3,666,699	383,882	1,405,416	3,637,750
8	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	3,210,196	2,106,631	762,369	1,363,247	3,678,036	3,309,292	3,666,699	383,882	1,405,416	3,637,750
10	相互に関係する資産がある負債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	その他の負債	9,833	212,337	—	15,007	—	3,975	193,484	—	16,713	—
12	うち、デリバティブ負債の額	—	—	—	13,892	—	—	—	—	15,010	—
13	うち、上記に含まれない負債の額	9,833	212,337	—	1,115	—	3,975	193,484	—	1,702	—
14	利用可能安定調達額合計	—	—	—	—	15,669,795	—	—	—	—	15,666,439
所要安定調達額 (2)											
15	流動資産の額	—	—	—	—	158,739	—	—	—	—	168,674
16	金融機関等に預け入れているオペレーショナル預金に相当するものの額	4,139	—	—	—	4,139	5,183	—	—	—	5,183
17	貸出金又はレポ形式の取引による資産及び有価証券その他これに類するものの額	357,547	2,365,983	753,640	11,665,240	11,268,257	331,447	2,274,013	738,501	11,436,480	10,983,257
18	うち、レベル1資産を担保とする金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	うち、項番18に含まれない金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	1,958	385,886	53,802	652,116	738,858	1,447	371,511	36,579	620,755	696,218
20	うち、貸出金又はレポ形式の取引による資産の額(項番18、19及び22に該当する額を除く。)	—	1,292,552	499,841	4,152,790	4,267,921	—	1,257,958	494,344	4,061,179	4,169,447
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	462,062	87,198	790,736	788,609	—	457,926	70,341	793,535	779,932
22	うち、住宅ローン債権	—	176,848	160,995	6,335,568	5,193,704	—	175,758	162,176	6,235,234	5,097,210
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	55,892	53,854	1,802,252	1,226,337	—	55,870	55,618	1,858,533	1,263,791
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	355,589	510,695	39,002	524,765	1,067,772	330,000	468,784	45,401	519,310	1,020,380
25	相互に関係する負債がある資産	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	その他の資産等	174,577	46,215	24,458	834,802	1,072,140	176,676	56,413	15,365	848,953	1,085,556
27	うち、現物決済されるコモディティ(金を含む。)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	うち、デリバティブ取引等又は中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金又は清算基金(連結貸借対照表に計上されないものを含む。)	—	—	—	17,223	14,640	—	—	—	27,859	23,680
29	うち、デリバティブ資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	うち、デリバティブ負債(変動証拠金の対価の額を減ずる前)の額	—	—	—	4,419	4,419	—	—	—	3,504	3,504
31	うち、上記に含まれない資産及び資本の額	174,577	46,215	24,458	813,158	1,053,080	176,676	56,413	15,365	817,589	1,058,370
32	オフ・バランス取引	—	—	—	3,569,628	179,950	—	—	—	3,565,224	178,448
33	所要安定調達額合計	—	—	—	—	12,683,228	—	—	—	—	12,421,119
34	単体安定調達比率	—	—	—	—	123.5	—	—	—	—	126.1

(注) 上記は、2015年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。